

2019年度

事業概要

2019年4月

国土交通省 中部地方整備局
北勢国道事務所

道路整備を通じて更に活気のある地域へ

北勢国道事務所は、北勢・伊賀地域の道路整備を通して、道路交通渋滞の緩和や道路交通事故の削減だけでなく、企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化等、幅広く地域に貢献を図り、「活力ある社会」「ストック効果の最大化」「安全・安心」を実現します。

道路事業の目標

北勢地域の、更なる発展のために次の三つを目標に定め、この実現に努めます。これにより、三重県の『みえ県民力ビジョン』を支援します。

暮らしや産業を支える活力ある社会の形成

都市部に集中する通勤や沿岸部の物流交通等により発生する慢性的な道路交通渋滞を緩和し、活力ある社会の実現に向け、道路ネットワークの構築を効率的に進めます。

- 高規格幹線道路ネットワークの形成
 - ・ 国道475号東海環状自動車道：北勢地域の高速アクセスの向上
- 広域的ネットワークを支援し、都市の骨格となる道づくり
 - ・ 国道1号北勢バイパス：四日市都市圏の渋滞緩和
 - ・ 国道1号桑名東部拡幅：伊勢大橋の架け替えと渋滞緩和
 - ・ 国道1号関バイパス：亀山IC周辺の渋滞緩和

道路ネットワークの強化による、ストック効果の拡大

北勢地域は日本有数のものづくりの地域であり、自動車産業や航空機産業の集積地です。道路ネットワークの強化による企業活動の向上、物流の効率化、観光活性化など幅広く地域に貢献し、北勢地域を盛り上げます。

安全・安心できる暮らしの確保

安全・安心な暮らしの実現に向け、交通事故対策や道路施設の耐震強化及び防災対策を進めます。

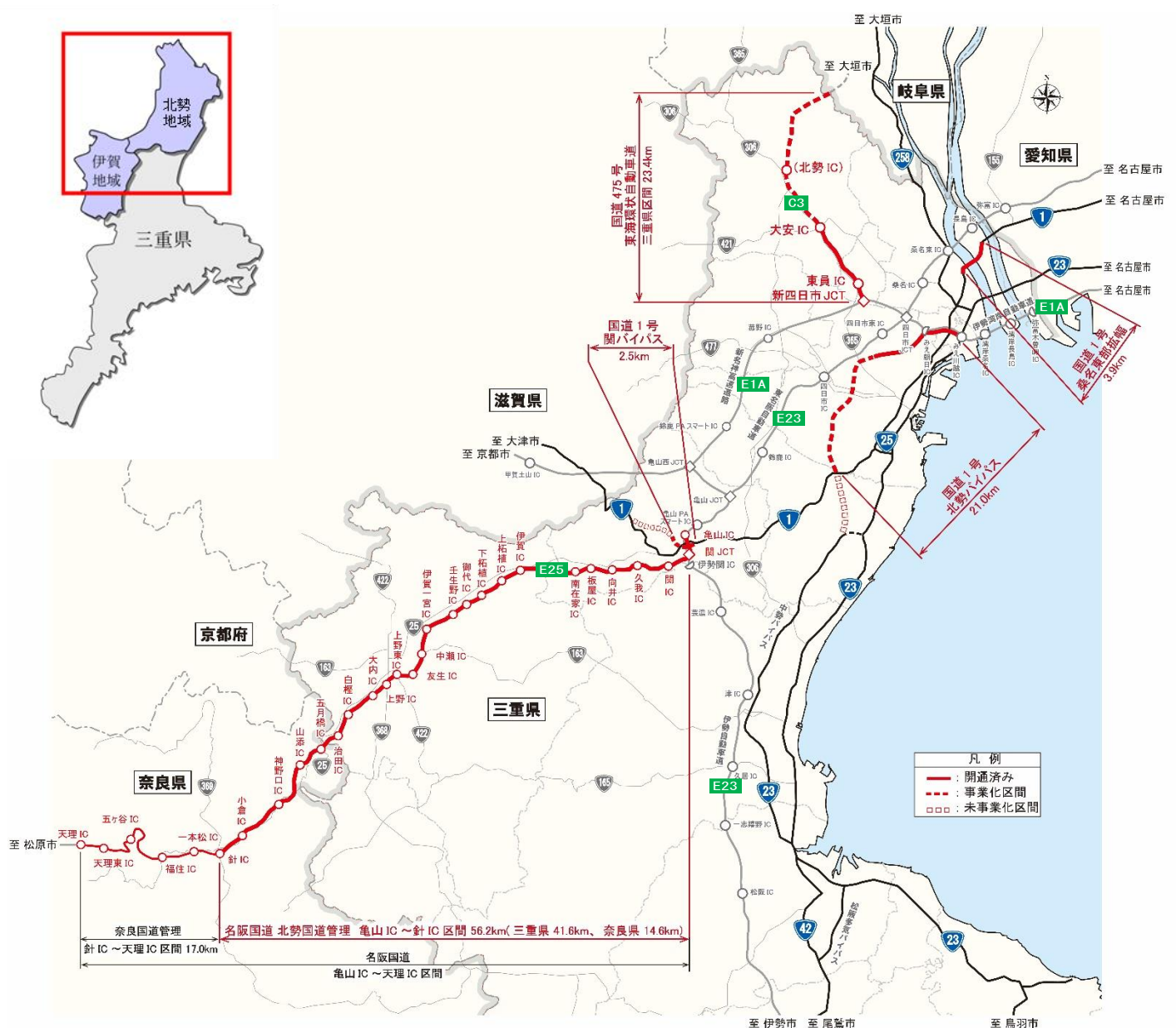
- 安心・安全な道路づくり
 - ・ 国道25号名阪国道：亀山・伊賀・山添・奈良地域の道路交通の安全・安心の向上

1. 北勢国道事務所の概要

北勢国道事務所は、国道1号、25号、475号の3路線、約107kmの整備事業（交通安全関係等を含む）を担当するとともに、国道25号名阪国道（延長56.2km）の管理を担当しています。

高規格道路ネットワークを形成する高規格幹線道路の国道475号東海環状自動車道（三重・岐阜県境～四日市市）、及び広域的なネットワークの形成を図る国道1号北勢バイパスと関バイパスの整備、国道1号桑名東部拡幅の整備を推進しています。

また、交通事故や老朽化する道路施設に対応するため、国道25号名阪国道（三重県及び、奈良県の針ICまで）のインター改良等の交通安全対策及び橋の耐震補強等を推進するとともに、日常の維持管理、損傷した施設の修繕を行っています。



２．事業箇所及び事業費

(百万円)

箇所名	事業延長 (km)	事業費			区間
		2018年度	2019年度	伸率	
くわなとうぶ 国道1号桑名東部拡幅	3.9	940	1,060	1.13	くわな　ながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木～ きたはまちよう 同市北浜町
ほくせい 国道1号北勢バイパス	21.0	3,100	2,500	0.81	みえ　かわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町南福崎～ よっかいち　うねめ 四日市市采女
せき 国道1号関　バイパス	2.5	10	10	1.00	かめやま　たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～ せきちようわしやま 同市関町鷺山
めいはん 国道25号名阪国道 (交通安全関係等を含む)	56.2	983	1,157	1.18	かめやま　たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～ な　ら　はりちよう 奈良市針町
とうかいかんじよう 国道475号東海環状自動車道 (三重県区間)	23.4	15,277	3,410	0.22	岐阜・三重県境～ よっかいち　きたやまちよう 四日市市北山町
合計（参考）	107.0	20,310	8,137	0.40	－

国道1号桑名東部拡幅

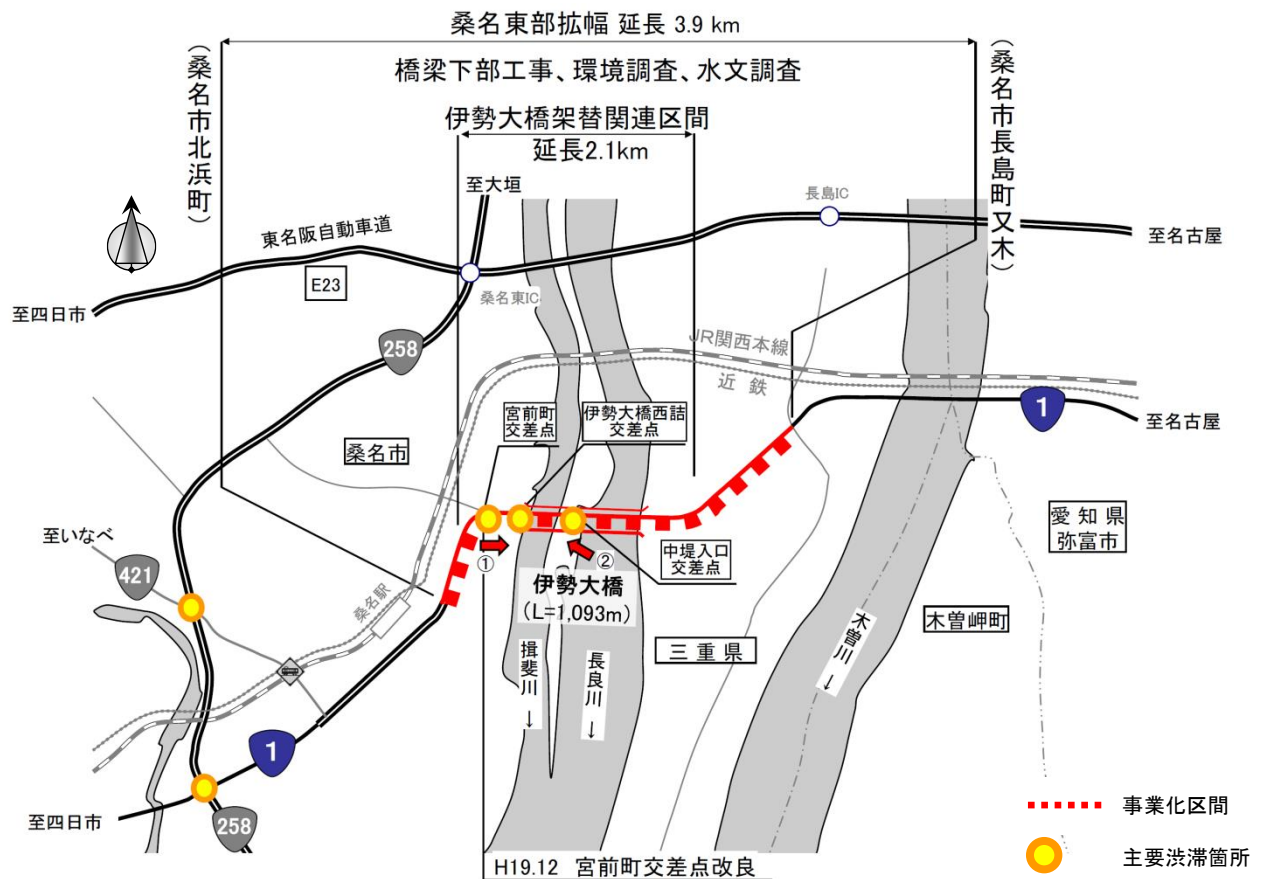
1. 目的

くわなとうぶ
国道1号桑名東部拡幅は、現道の4車線拡幅による渋滞緩和、交通安全確保及び昭和9年(1934年)
いせ
架橋で老朽化の著しい伊勢大橋の架替を目的に計画された拡幅事業です。

2. 概要

くわなとうぶ くわな ながしまちようまたぎ きたはまちよう
国道1号桑名東部拡幅は、桑名市長島町又木～同市北浜町間の延長3.9kmの現道拡幅事業で、
平成27年9月に着工式が行われ、伊勢大橋の早期完成に向けて事業推進中です。

本年度は、伊勢大橋架替関連区間(延長2.1km)について、橋梁下部工事、環境調査、水文調査
を推進します。



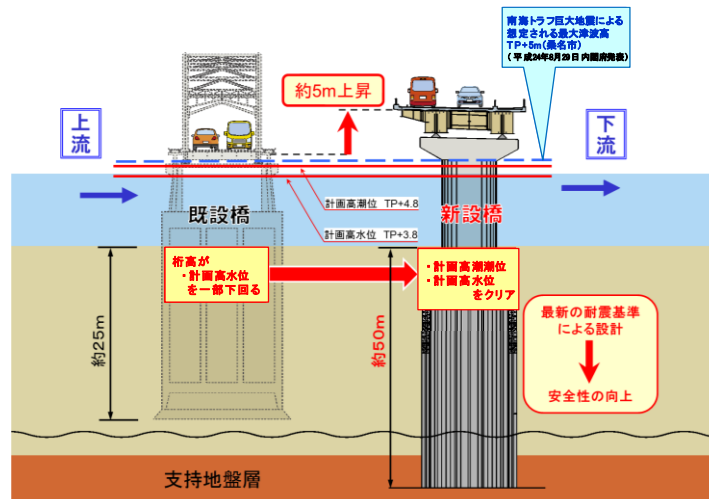
桑名市側より名古屋方面を望む



中堤より揖斐川を望む

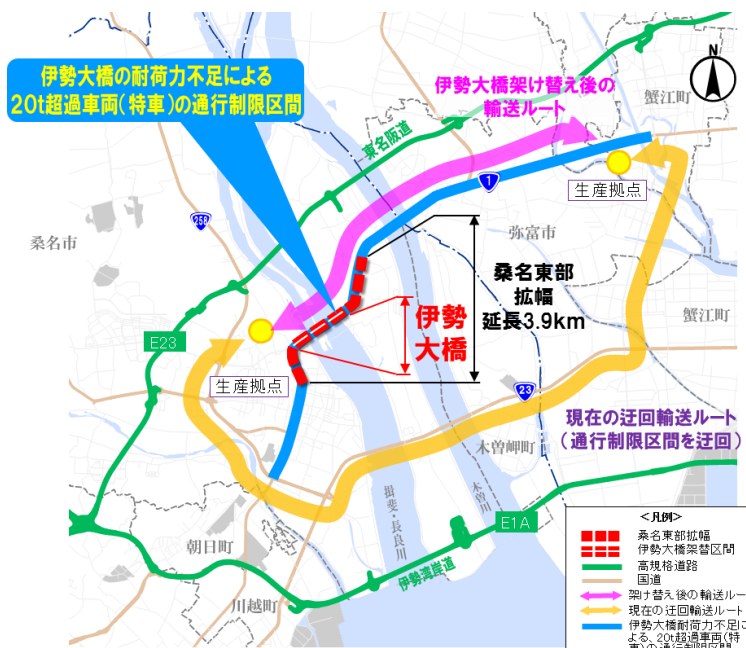
災害に強い道路機能の確保

伊勢大橋は、昭和9年度（85年経過）に竣工し、長年の雨水・塩害影響により老朽化が進んでいます。また、現在の橋は、南海トラフの巨大地震により発生が想定される津波に対して脆弱な状況にあります。新橋への架替えによって最新の橋梁の基準に基づいて設計することから、耐震性も優れた橋になります。そのため、地震時の避難経路や緊急輸送路の確保をすることができます。

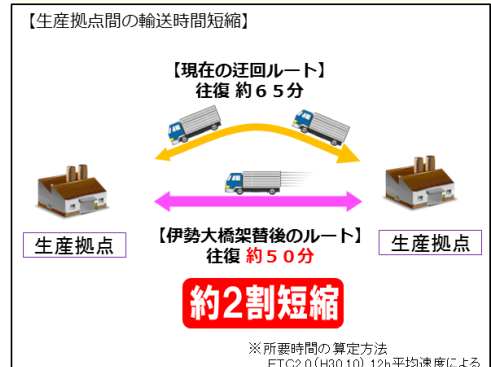


伊勢大橋架替による整備効果

桑名市は、国家戦略特区「アジア No.1 航空宇宙産業のクラスター形成特区」の区域指定を受けています。伊勢大橋架替により、20t超過車両（特車）通行制限区間を迂回している生産拠点間の輸送時間が短縮され、物流効率化が図られます。



伊勢大橋架替により 特車通行可となり物流効率化を実現



国道1号北勢バイパス

1. 目的

国道1号北勢バイパスは、四日市市を中心とする北勢地域のバイパスとして、国道1号・23号等の渋滞緩和、災害に強い道路機能の確保及び地域活性化の支援を目的に計画された道路です。

2. 概要

国道1号北勢バイパスは、三重郡川越町南福崎（国道23号）～四日市市采女（国道1号）に至る延長21.0kmの幹線道路で、現在、みえ川越IC～三重郡朝日町小向（国道1号）までの延長1.2kmを完成4車線で、三重郡朝日町小向～⑤日永八郷線までの延長7.3kmを暫定2車線で開通しています。また、⑤日永八郷線～国道477号バイパス間において、平成28年10月に坂部トンネル（仮称）の工事安全祈願祭を開催し、トンネルの本線掘削を開始するなど、早期開通に向けて事業推進中です。

本年度は、橋梁下部工事、橋梁上部工事、トンネル工事、改良工事、環境調査、水文調査、詳細設計、埋蔵文化財調査、移転補償を進めるとともに、国道477号バイパス～四日市市采女（国道1号）間では調査設計を推進します。



坂部トンネル（仮称）終点側より川越方面を望む



国道477号バイパスより川越方面を望む



交通輸送時間の短縮

北勢バイパスの開通により、高速道路から工業団地への一般道利用の時間が大幅に短縮しました。沿線企業からも「名古屋方面への利便性が良くなった」、「今後の開通によって、周辺道路の混雑緩和に期待している」などの声を頂いています。



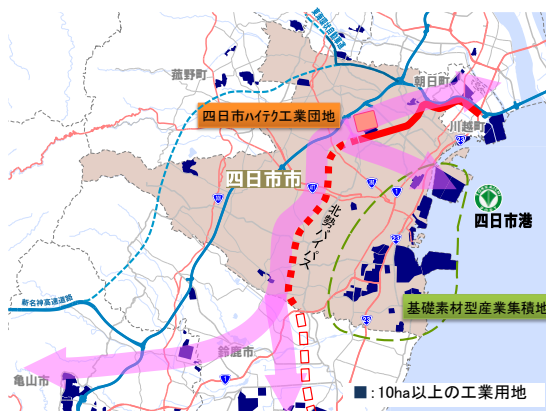
三重県北勢・伊賀地域と名阪国道の
 安全で円滑な道路交通をめざして！
 北勢国道事務所

みえ川越ICから工業団地への所要時間大幅短縮



産業・物流活動を支援

四日市市は、国際拠点港湾の四日市港が位置し、製造品出荷額等では全国第13位(中部第3位)を誇るなど、多様な産業が集積する産業・物流の拠点地域です。北勢バイパスは、四日市港や内陸部・臨海部の産業集積地等を有機的に結び、産業・物流活動を支援します。



H28 製造品出荷額等市町村ランキング (中部第3位)

順位	市町名	製造品出荷額等
1	豊田市	14兆円 2,463億円
2	横浜市	3兆円 7,143億円
3	川崎市	3兆円 5,938億円
4	市原市	3兆円 5,930億円
5	大阪市	3兆円 5,578億円
6	倉敷市	3兆円 3,854億円
7	名古屋	3兆円 3,636億円
8	堺市	3兆円 2,471億円
9	神戸市	3兆円 2,135億円
10	広島市	3兆円 180億円
11	太田市	2兆円 8,422億円
12	京都市	2兆円 6,295億円
13	四日市市	2兆円 5,735億円
14	大分市	2兆円 2,433億円

中部第3位

出典：経済産業省 工業統計調査

災害時の主体

南海トラフ巨大地震による津波浸水において、第1次緊急輸送道路に指定されている国道1号・23号で浸水被害が予測されています。北勢バイパスの整備により、第1次緊急輸送道路が拡充され、防災拠点間の連絡経路が確保されるとともに、津波浸水域を迂回した道路啓開ルートが形成されます。



防災拠点のイメージ



国道1号関バイパス

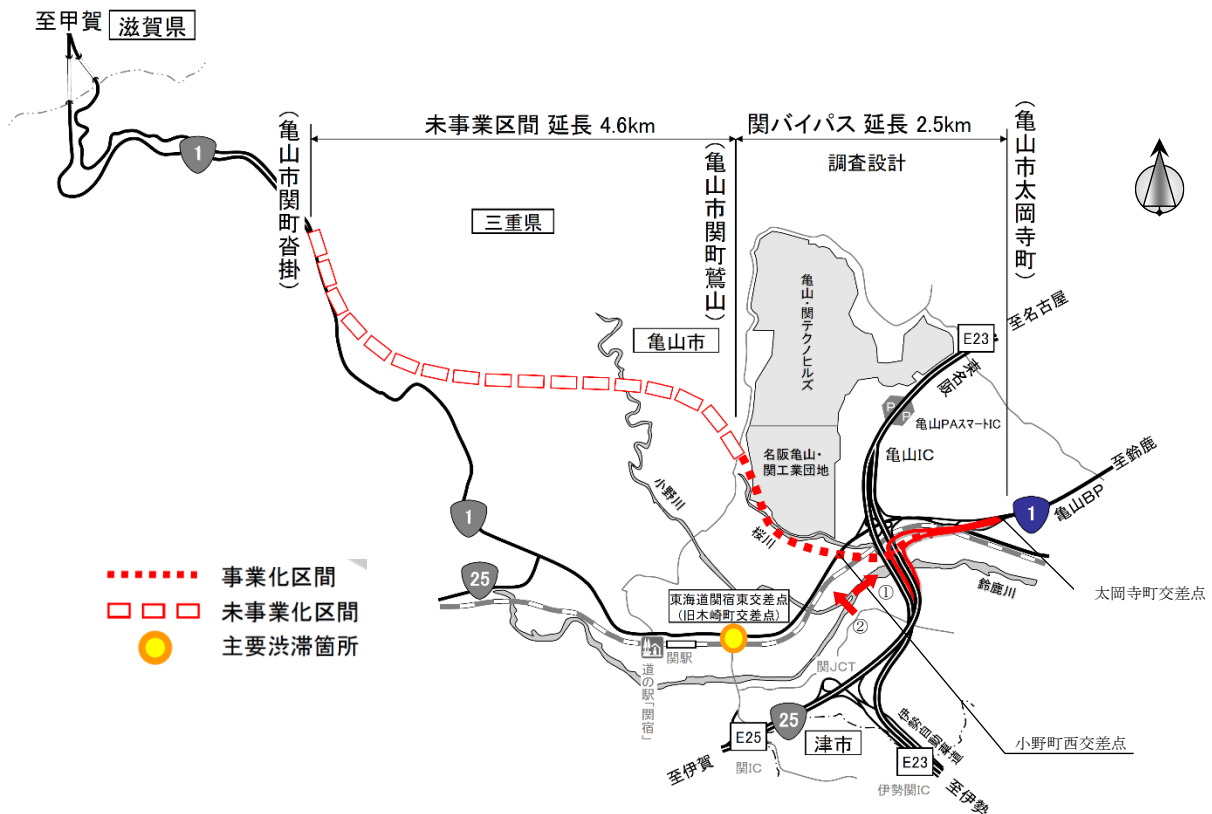
1. 目的

国道1号^{せき}関バイパスは、国道1号の増加する交通量への対応、交通安全の確保を図り、さらには地域発展の核となるプロジェクトの支援を目的に計画された道路です。

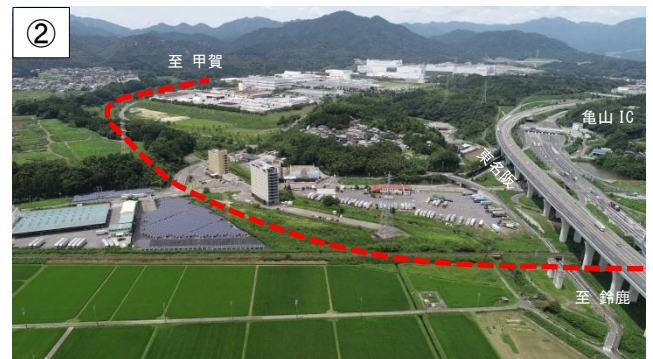
2. 概要

国道1号^{せき}関バイパスは、^{かめやま}亀山市^{たいこう}太岡寺町^{せきちやうわしやま}～同市^{せきちやうわしやま}関町^{せきちやうわしやま}鷺山に至る延長2.5kmのバイパスです。

本年度は、^{かめやま}亀山市^{おのちやう}小野町^{せきちやうわしやま}～同市^{せきちやうわしやま}関町^{せきちやうわしやま}鷺山間の調査設計を推進します。



東名阪の上空から鈴鹿方面を望む



東名阪の上空から甲賀方面を望む

国道25号名阪国道

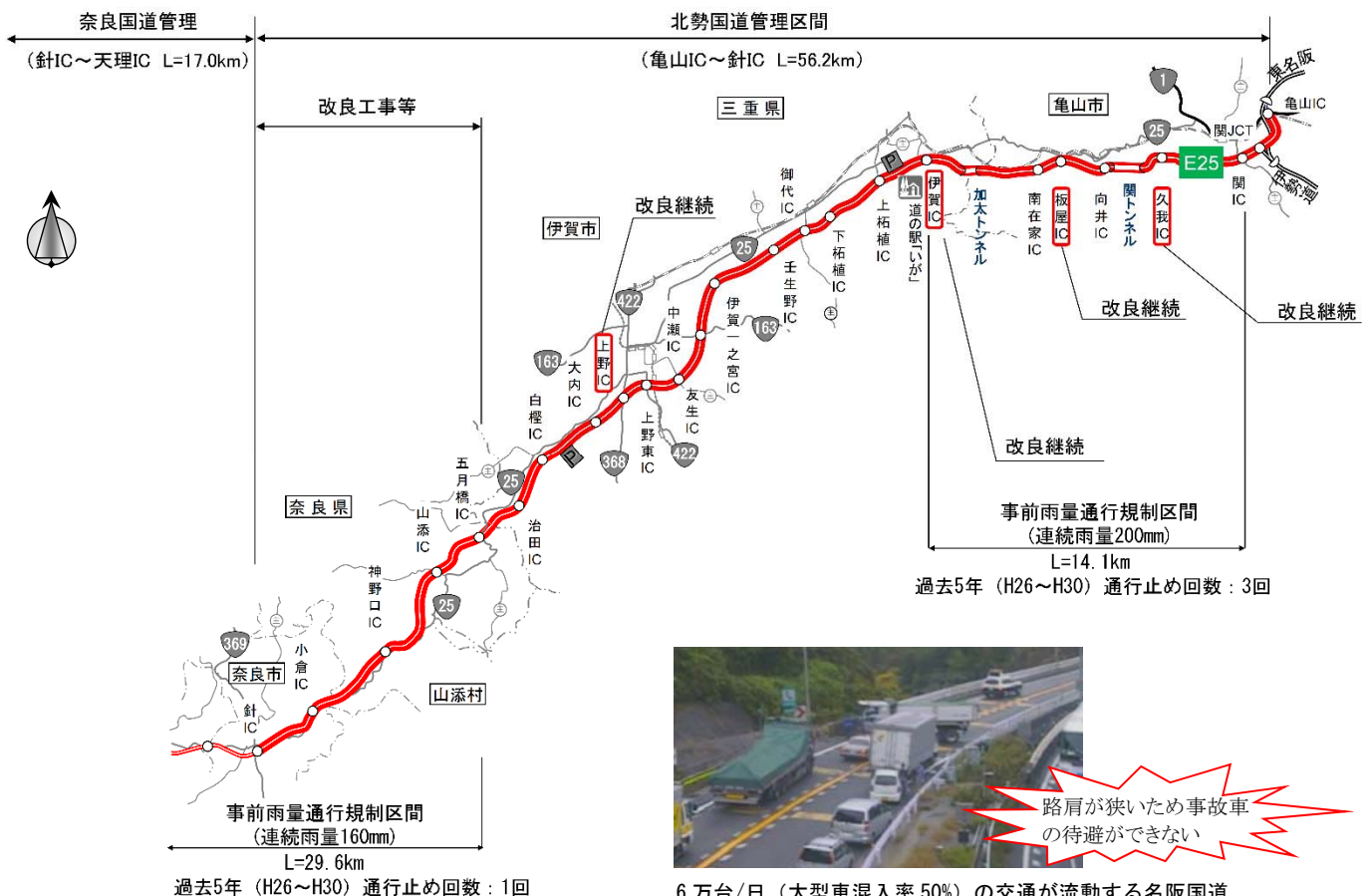
1. 目的

国道25号名阪国道は、三重県亀山市から奈良県天理市までの自動車専用道路であり、東名阪自動車道、西名阪自動車道と直結し、国土軸である名神高速道路の代替機能を有する道路です。

2. 概要

国道25号名阪国道は、三重県亀山市太岡寺町～奈良県天理市櫛本町に至る延長約73.2km(北勢国道事務所管理56.2km、内三重県41.6km)の一般国道の自動車専用道路として建設され、昭和40年12月に暫定2車線で開通し、昭和55年3月には全線4車線で完成しました。現在は、増加する交通事故等の課題に対処するため、インターチェンジ改良等の道路構造の改善を進めるとともに、事前雨量通行規制区間の解除を目指した防災対策や耐震補強及び橋梁の長寿命化を進めています。

本年度は、久我IC・板屋IC・上野IC・伊賀IC改良を継続し、五月橋IC～針IC間の改良工事等を推進します。



6万台/日(大型車混入率50%)の交通が流動する名阪国道。
渋滞や事故により生産活動等に大きな損害が発生。

交通事故の抑制へ向けて



交通安全対策（ハード）

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での事故対策として、平成 29 年度までに各 IC の逆走対策が完了しました。本年度は引き続き変速車線の延伸等を進めていきます。



交通安全対策（ソフト）

インターチェンジ変速車線と本線の合流部での注意喚起として、合流車情報板の設置などを進めています。その他、事故抑制のため注意喚起の看板設置等を進めています。また、道路利用者には国道 25 号名阪国道を安全に走行して頂くために「名阪国道セーフティマップ」「名阪国道死亡事故全国ワースト 1 脱出作戦」を作成し、配布していきます。



名阪国道の安全走行を考えるため、地域の代表者、道路利用者、交通・道路管理者、行政による懇談会を平成 18 年度に設置し、ご意見を聞きながら交通安全対策（ソフト・ハード）を推進しています。



過年度の懇談会の様子

長寿命化・耐震対策

名阪国道は、開通後 50 年以上が経過しています。また、交通量は飛躍的に伸び、大型車も多いため、舗装はひび割れやポットホール(穴ぼこ)等が発生し、橋梁・トンネルにおいても老朽化が進んでいます。そのため、老朽化した名阪国道の長寿命化に向けて、維持補修を実施しています。また、橋梁の耐震対策などにより災害に強い安心な道路づくりを推進しています。



傷んだ道路



傷んだ橋

＜橋梁耐震対策＞

熊本地震などの教訓を踏まえ、緊急輸送道路等の重要な橋について、今後、大規模地震が発生し、被災した場合においても速やかに機能を回復できるよう、橋脚補強、落橋防止、支承補強などの耐震補強を実施しています。



支承補強



落橋防止装置

国道475号東海環状自動車道

1. 目的

国道475号東海環状自動車道のうち、「養老～北勢」区間は、養老山脈に隔てられた岐阜県西濃地域と三重県北勢地域を直結することで、高速交通ネットワークを形成し、地域開発を支援することを目的とし、「北勢～四日市」区間は新名神高速道路と一体となって、三重県北勢地域の道路網の形成、交通結節点である四日市港への集積拡大による活性化、内陸部の適正な開発等を図ることを目的とした道路です。

2. 概要

国道475号東海環状自動車道は、延長約153kmの一般国道の自動車専用道路で、現在、東回り（豊田東JCT～関広見IC間）区間の延長75.9kmと、西回り区間（関広見IC～新四日市JCT間）のうち大垣西IC～養老ICまでの延長9.1km、大安IC～新四日市JCTまでの延長7.8kmが開通しています。

三重県内では、平成2年度に北勢IC（仮称）～新名神高速道路に接続する新四日市JCT間の延長14.4kmを事業着手し、平成19年度に岐阜・三重県境～北勢IC（仮称）間の延長9.0kmを事業着手しています。平成30年度には、大安IC～東員ICが開通し、2024年度供用区間の北勢IC（仮称）～大安ICについては、財政投融资を活用することで整備を加速し、早期開通を目指します。

本年度は、以下の事業を推進します。

- 北勢IC（仮称）～大安IC間については、用地買収を推進するとともに、中日本高速道路(株)より橋梁下部工事を受託します。
- 県境～北勢IC（仮称）間については、橋梁下部工事、改良工事、環境調査、水文調査、詳細設計、埋蔵文化財調査、調査設計、用地買収、用地調査を推進します。



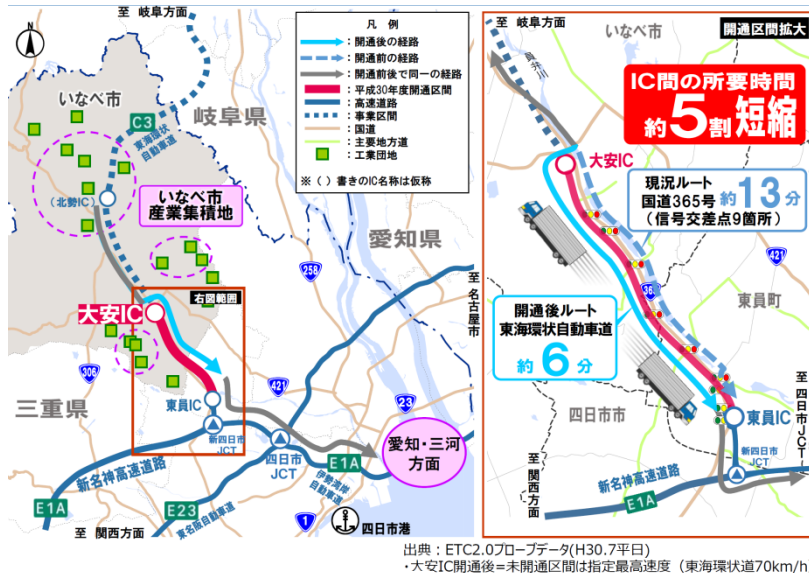
北勢ICより養老方面を望む

物流輸送時間の短縮

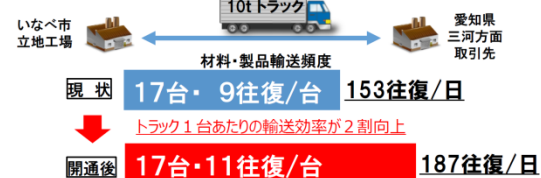
いなべ市の工業団地に多数立地している自動車関連企業では、製品を愛知県三河方面へ輸送するため、高速道路の定時性を重視した多頻度輸送を実施しています。

大安IC～東員IC間の開通により、所要時間が約5割短縮され、輸送効率が約2割向上するなど企業の生産性が向上が期待されます。

○いなべ市の産業集積地と輸送経路の変化



■期待される生産性向上効果



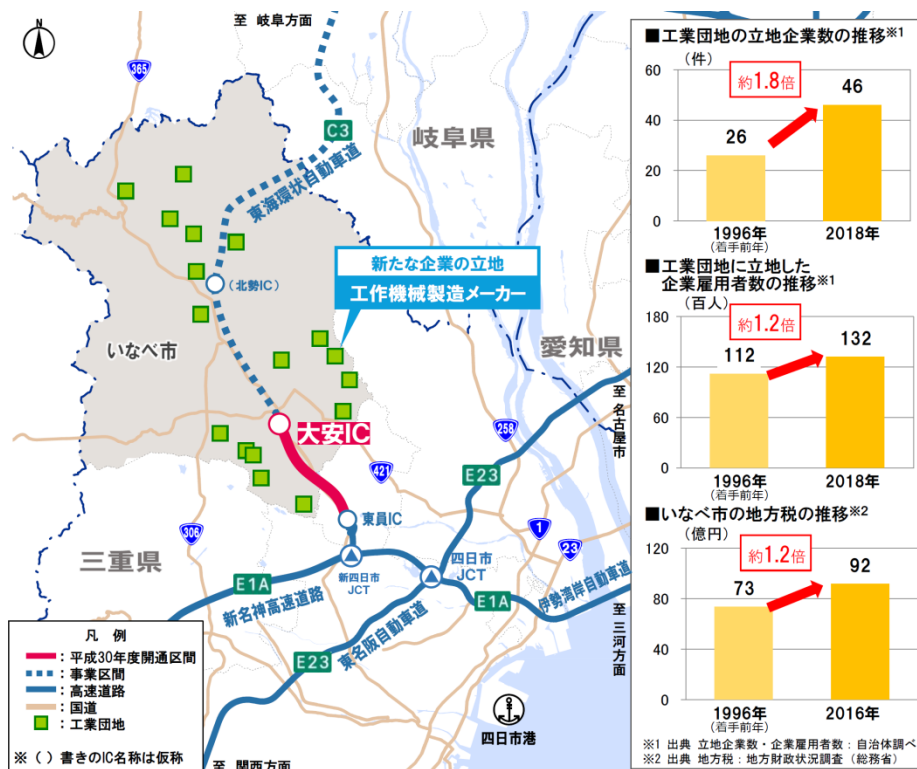
※国土交通省による試算
 (16時間稼働の場合。現状の輸送頻度・使用台数はヒアリング調査より。)

沿線地域の開発支援

大安IC～東員IC間が着工（1997年）して以降、いなべ市では、企業立地が約1.8倍、雇用数が約1.2倍、地方税が約1.2倍に増加しています。

また、東海環状自動車道（西回り）の開通を見据え、新たな企業が立地するなど、更なる企業進出や生産拡張による民間投資等が期待されています。

○東海環状自動車道沿線（いなべ市）の企業立地数、雇用者数、地方税の推移



その他

地域防災力向上に向けた取組～信頼に応える地域支援を目指して

・国土交通省の災害への備え・防災への取組

国土交通省では、大規模自然災害が発生し、また発生する恐れがある場合に、被災自治体に対して技術的な支援を円滑かつ迅速に行うことを目的とした「緊急災害対策派遣隊（ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ）」を平成 20 年 4 月より設置し、広域的な支援に対して備えています。また、管内自治体で大きな被害が発生した場合、その自治体との連携を密接に図るため、リエゾン（情報連絡員）派遣に関する協定を締結し円滑な復旧につなげています。平常時は訓練、講習等を通じて普段から自治体との連絡体制の強化に努めています。

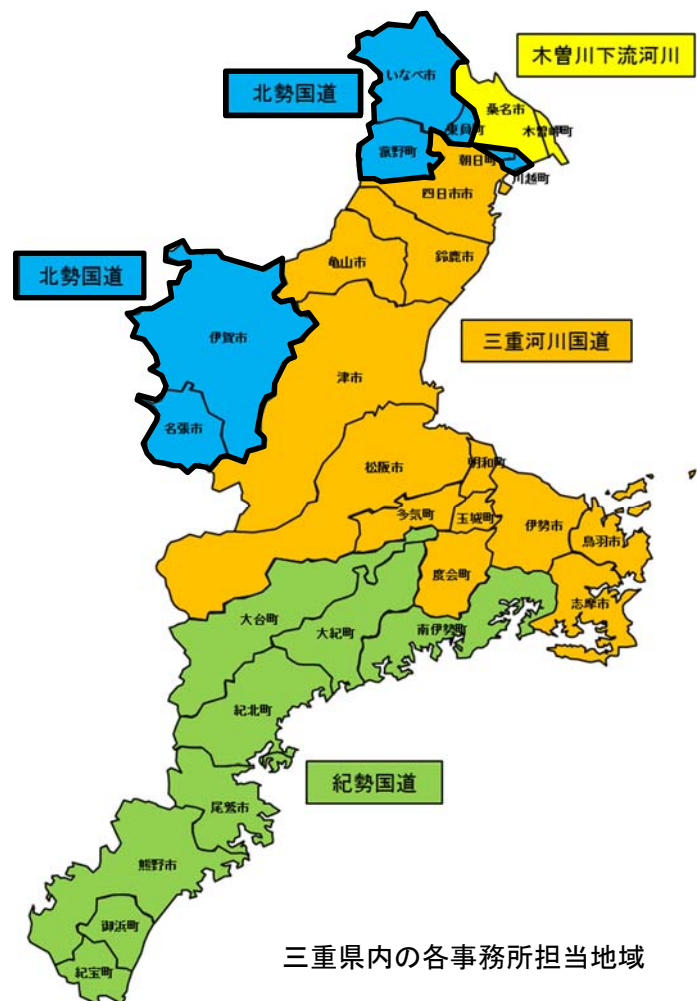
・リエゾン（情報連絡員）派遣

災害発生時に市町村へ中部地方整備局の職員を派遣して、市町村の被災情報の収集や中地方整備局から災害対策資機材等の情報提供を行う事を目的とし、現地情報連絡員を通じて市町村との円滑な情報共有を図ることにより、市町村による迅速な災害復旧活動を支援します。

なお、三重県内の各事務所における担当地域等は下記のとおりです。

市町	協定日
伊賀市	H23.7.11
名張市	H23.8.4
いなべ市	H23.8.2
菰野町	H23.11.15
東員町	H23.7.1
川越町	H23.10.20
朝日町	H23.10.26

北勢国道事務所が担当する
各自治体の協定状況



三重県内の各事務所担当地域

○ 諸元一覧

路 線 名	1 号			475 号		25 号
箇 所 名	くわなとうぶ 桑名東部拡幅	ほくせい 北勢バイパス	せき 関バイパス	とうかいかんじょう 東海環状自動車道 (養老～北勢)	とうかいかんじょう 東海環状自動車道 (北勢～四日市)	めいはん 名阪国道
p 当事務所 事業区間	くわな ながしまちようまたぎ 桑名市長島町又木～ きたはまちよう 同市北浜町	み え かわごえちようみなみふくさき 三重郡川越町南福崎～ よつかいち うねめ 四日市市采女	かめやま たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～ せきちようわしやま 同市関町鷺山	岐阜三重県境～ ほくせいちよう いなべ市北勢町	ほくせいちよう いなべ市北勢町～ よつかいち きたやまちよう 四日市市北山町	かめやま たいこうじちよう 亀山市太岡寺町～ はりちよう 奈良市針町
	延長3.9km	延長21.0km	延長2.5km	延長9.0km	延長14.4km	延長56.2km
	—	計画延長約28.4km	計画延長約7.1km	三重県区間延長23.4km 全線延長約153km		全線延長73.2km
構 造 規 格 設 計 速 度	第4種1級 60km/h	第3種1級 80 km/h	第3種2級 60km/h	第1種2級 100km/h		第1種3級 80 km/h (一部60 km/h)
標 準 幅 員	幅員30m 4車線	幅員25m 4車線	幅員28m 4車線	幅員23.5m 4車線		幅員22m 4車線
事 業 着 手	昭和51年度	平成4年度	昭和49年度 平成8年度(復活) 平成15年度(延伸)	平成10年度 (着工準備) 平成19年度 (着手)	平成2年度	昭和38年度
都市計画決定	昭和26年6月14日 昭和61年1月31日	平成2年12月25日 平成11年8月17日 (一部変更)	平成8年11月5日	平成19年4月24日	平成4年1月21日	昭和39年度
工事着手	平成15年度	平成11年度	平成14年度	平成26年度	平成9年度	昭和39年度
開 通 区 間	平成19年12月13日 みやまえちよう 宮前町交差点(下り) 右折レーン2車線化	平成15年3月21日 かわごえちようみなみふくさき 川越町南福崎 ～四日市市広永町 (伊勢湾岸自動車道重複 区間) (L=3.6km) 平成22年3月28日 あさひ みえ朝日IC ～  大矢知富田線 (L=1.6km) 平成23年3月26日 おおやちとみた  大矢知富田線 ～  上海老茂福線 (L=1.0km) 平成22年3月28日 かみえびもちぶく  上海老茂福線 ～  垂坂1号線 (L=0.9km) 平成27年3月7日 たるさか  垂坂1号線 ～  日永八郷線 (L=1.4km)	平成19年8月23日 おおさか 大阪行きランプ (オンランプ) (L=0.7km) 平成20年3月23日 なごや 名古屋行きランプ (オフランプ) (L=0.7km)	未開通	平成28年8月11日 東員IC～ 新四日市JCT 完成4車線開通 (L=1.4km) 平成31年3月17日 大安IC～ 東員IC 暫定2車線開通 (L=6.4km)	(名阪国道L=41.6km) 昭和40年12月 全 線 暫定2車線開通 昭和55年3月 全 線 完成4車線開通 奈良県内 (名阪国道L=14.6km) 平成28年4月1日 奈良国道事務所より 管理区間変更 平成29年2月18日 さつぎばし 五月橋IC改良完成 なごや 名古屋行きランプ (オンランプ)

三重県北勢・伊賀地域と名阪国道の
安全で円滑な道路交通をめざして！
北勢国道事務所

夢を広げるみちづくり、ほくほくネットワーク
国土交通省中部地方整備局



北勢国道事務所

〒510-8013 三重県四日市市南富田町4-6
TEL : (059) 363-5511 (代) FAX : (059) 363-5521 (代)
〒519-0165 三重県亀山市野村4-3-25 (管理課)
TEL : (0595) 82-1312 (代) FAX : (0595) 83-1319 (代)
〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町2055 (上野維持出張所)
TEL : (0595) 21-3011 (代) FAX : (0595) 21-9742 (代)

ホームページアドレス <http://www.cbr.mlit.go.jp/hokusei/>
公式 Twitter https://twitter.com/mlit_hokusei

北勢国道事務所が実施する事業については上記ホームページでもご覧いただけます



道路施設の損傷、路面の汚れ(油・土砂)、路面の穴ぼこ、落下物など。

道路の異状を発見したらご一報ください。

緊急通報 **#9910**へ

※高速道路については、道路名、進行方向、キロポスト、
周辺の施設名等をご確認いただきますようお願いいたします。
※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。
安全な場所に停車しておかけください。